

**KINCHO 園芸、秋冬野菜を害虫から守る「葉・実を食べる虫退治粒剤
家庭園芸用 GF オルトラン粒剤」を 8 月初旬より発売**
アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシなど、秋冬野菜の害虫対策に

KINCHO園芸株式会社

家庭園芸用薬品・肥料等を製造販売するKINCHO園芸株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:森本 義之)は、家庭菜園で人気の秋冬野菜栽培に便利な殺虫剤「葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用 GF オルトラン粒剤」を8月初旬より、全国の各ホームセンターにて発売いたします。

夏の終わりから秋にかけて植え付けるアブラナ科の秋冬野菜は比較的育てやすい一方で、アオムシやコナガ、ヨトウムシ、アブラムシなどの害虫被害を受けやすく注意が必要です。「葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用GFオルトラン粒剤」は苗の植え付け時や種まき時に土にまいたり混ぜたりするだけで、有効成分が根から吸収されて効果を発揮する浸透移行性殺虫剤です。家庭菜園ユーザーの害虫対策をサポートし、野菜づくりを応援します。



■おいしい秋冬野菜は害虫の餌食になりやすい

秋冬野菜は家庭菜園で人気の高い作物が多くあります。一方で、生育期間はさまざまな害虫が活動する時期と重なるため、早めの対策が欠かせません。特にアブラナ科野菜(キャベツ、ブロッコリー、はくさい、だいこん、かぶ、こまつななど)では、次のような害虫による被害が発生しやすくなります。

- ・アオムシ
- ・コナガ
- ・ヨトウムシ
- ・アブラムシ

これらの害虫は新芽や葉を食害して、野菜の生育を妨げるため、収穫量低下につながることがあります。それを防ぐには、植え付け時からの害虫対策が重要です。

害虫発生カレンダー	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アオムシ												
ヨトウムシ												
コナガ												
ハムシ(成虫)												
アブラムシ												

■土にまくだけ・混ぜるだけで害虫対策ができる浸透移行性殺虫剤

「葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用GFオルトラン粒剤」は、有効成分が根から吸収されて植物全体に行き渡る浸透移行性殺虫剤です。

苗の植え付け時や種まき時に土にまいたり、混ぜるだけで、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシなどの害虫を防除します。そのまま手軽に使える粒タイプで、植え付け時に土に処理しておくことで害虫対策を始められるため、家庭菜園初心者にも取り入れやすい製品です。



浸透移行性って何？

根から殺虫成分が吸収され植物全体にいきわたり、害虫を退治する仕組み。植物自体が害虫から身を守るバリアをまとうようなイメージで、殺虫剤を虫にかけなくても、植物自体が虫をはねのけてくれます。



■植え付け時は「葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用GFオルトラン粒剤」、生育期間中は「ベニカAスプレー」

秋冬野菜を害虫被害から守るためには、植え付け時からの予防と、生育期間中の早めの防除を組み合わせることが大切です。

「葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用GFオルトラン粒剤」は有効成分が根から吸収されて植物全体に行き渡る浸透移行性殺虫剤です。苗の植え付け時や種まき時に土にまいたり、混ぜるだけで、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシなどの害虫を防除します。水にうすめる手間がなく、長く効果が続くため、家庭菜園のスタート時におすすめです。

また、「ベニカAスプレー」は野菜や花に発生したアオムシやアブラムシなどの害虫を退治できるスプレータイプの殺虫剤です。害虫を見つけた時にそのまますぐに散布して速効退治できるため、生育期間中の害虫対策に役立ちます。

植え付け時や種まき時には「葉・実を食べる虫退治粒剤 GFオルトラン粒剤」で予防し、生育期間中に発生した害虫には「ベニカAスプレー」で対処することで、秋冬野菜を効果的に守ることができます。

植え付け時に粒でガード！

虫が出たらスプレーで退治！

虫対策は **1 → 2** ステップで **がっちりケア！**

殺虫剤
葉・実を食べる虫退治粒剤
家庭園芸用 GFオルトラン粒剤
650g入



STEP 1 ガード
土にまく／混ぜる粒タイプ

- アオムシ・コナガ
- ヨトウムシ
- ネキリムシ
- アブラムシ
- など

殺虫剤
ベニカAスプレー 1000ml入



STEP 2 退治
そのまま直接スプレー

- アオムシ・コナガ
- ハムシ
- ヨトウムシ
- カメムシ
- など

■大切な野菜をしっかり守って大豊作をめざしましょう！

家庭菜園では、植え付け時の予防と生育期間中の防除を組み合わせることで、より効果的な害虫対策が可能です。秋冬野菜は、植え付け初期の食害ダメージがその後の生育に大きく影響します。植え付け時から適切に害虫対策を行い、大切な野菜を守って大豊作をめざしましょう。

STEP 1

**土にまいて
ガード**



植え付け・
種まき時に

STEP 2

スプレーで退治

※収穫前日まで使える作物もあります。使用時期は作物ごとに異なりますので詳しくはホームページでご確認ください。



生育初期に
スプレー散布



生育期に
スプレー散布

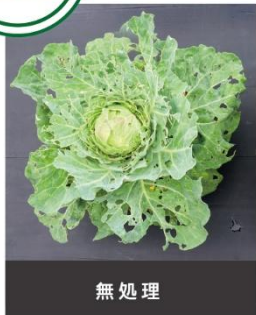


収穫前日まで
スプレー可能※

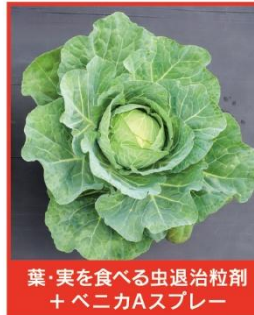
※キャベツへのスプレー散布は収穫3日前まで

キャベツ
効果比較

**1→2 ステップで
被害に差が出る！**
(定植約7週間後)



無処理



葉・実を食べる虫退治粒剤
+ ベニカAスプレー

KINCHO園芸社内試験(2026年4月16日～2026年6月5日)

**おすすめ
作物例**



ブロッコリー



はくさい



キャベツ



だいこん



かぶ



トマト



こまつな



ばれいしょ



なす



花



低木 など

■商品概要

商 品 名: 葉・実を食べる虫退治粒剤 家庭園芸用GFオルトラン粒剤

容 量: 650g入

成 分: アセフェート

価 格: オープン

販売場所: 全国の各ホームセンター

▼詳しい商品情報はこちら

<https://www.kincho-engei.co.jp/guide/details/6391/>

▼ベニカAスプレー

<https://www.kincho-engei.co.jp/guide/details/5923/>

▼KINCHO園芸のホームページ

<https://www.kincho-engei.co.jp/>





種まき前、種まき時、
植え付け時に土に混ぜ込む



植え付け後に
株元にばらまく

3

特長：

- 野菜を食害するアオムシ・コナガ・ヨトウムシ・ネキリムシ等に効果のある殺虫剤です。アブラムシ・アザミウマ・コナジラミ等の吸汁性害虫にも効果があります。
- 浸透移行性なので、土にばらまきだけで害虫の被害を防ぎます。

■適用害虫と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法
きく	ヨトウムシ類、ネキリムシ類、ハモグリバエ類、コガネムシ類幼虫	6g/㎡	発生初期	5回以内	株元散布
	アブラムシ類、アザミウマ類	3～6g/㎡			
宿根スターチス	ヨトウムシ類、コガネムシ類幼虫	6g/㎡			
カーネーション	ヨトウムシ類、コナガ				
アリウム	アブラムシ類、アザミウマ類	3～6g/㎡			
	ヨトウムシ類、ネギコガ	6g/㎡			
花き類・観葉植物（きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウムを除く）	アブラムシ類、アザミウマ類	3～6g/㎡			
	ヨトウムシ類、ネキリムシ類	6g/㎡			
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ	10g/㎡	生育期 (樹高2m以下)		全面散布
	タマナヤガ	5～10g/㎡			
つつじ類	ツツジゲンバイ				株元散布
樹木類(つつじ類、ポインセチアを除く)	ケムシ類	12g/㎡			
きゅうり なす	アブラムシ類、アザミウマ類、オンシツコナジラミ	3～6g/㎡ (1株当り 1～2g)	定植時	1回	植溝散布 又は植穴処理
	ネキリムシ類				植穴処理
トマト	アブラムシ類、オンシツコナジラミ		育苗期	本剤：1回 アセフェート：2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)	植溝散布 又は植穴処理
	アブラムシ類	6g/㎡			散布
キャベツ	アザミウマ類	6g/㎡ (1株当り2g)	定植時		植穴処理
	アブラムシ類、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、ネキリムシ類	3～6g/㎡ (1株当り 1～2g)			
はくさい	アブラムシ類		は種時		植溝土壌混和
なばな類*	アブラムシ類	6g/㎡			播溝土壌混和
こまつな	アブラムシ類、ネキリムシ類		は種前	1回	株元散布
オクラ	アブラムシ類		収穫開始14日前まで		
ブロッコリー	アザミウマ類、アオムシ、ヨトウムシ、ネキリムシ類	6g/㎡ (1株当り2g)	定植時		
だいこん	アブラムシ類、アオムシ、コナガ	3～4g/㎡	は種前		
かぶ	アブラムシ類、ネキリムシ類	4g/㎡	収穫21日前まで	本剤：1回 アセフェート：3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)	株元散布
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6g/㎡ (1株当り 1～2g)	植付時		植溝散布
えだまめ	ハスモンヨトウ	3～6g/㎡	収穫21日前まで	3回以内	生育期株元散布

●散布は一カ所に集中せず均一に散布してください。●「は種」とは、種をまくことです。

*「なばな類(茎葉及び花蕾を収穫するもの)」には「太田かぶ」が含まれます。

<当リリース・企業に関するお問い合わせ>

KINCHO 園芸株式会社 マーケティング部 ブランドプロモーションチーム 上田、松沼

TEL：03-3660-8017 FAX：03-3660-8002

【沿革】

1969年	10月 武田園芸資材株式会社設立
1989年	創立20周年 タケダ園芸株式会社に商号変更
1993年	製品開発センター完成
1999年	創立30周年
2001年	ホームページ開設
2002年	住化タケダ園芸株式会社に商号変更
2007年	11月 住友化学園芸株式会社に商号変更
2009年	創立40周年 「学校花壇&菜園応援プロジェクト」スタート
2012年	ホームプロダクト部門を新設、家庭用日用品雑貨を発売開始
2019年	創立50周年
2024年	創立55周年
2025年	7月 KINCHO園芸株式会社に商号変更

【会社概要】

商号	: KINCHO園芸株式会社
代表者	: 代表取締役会長 上山 直英 代表取締役社長 森本 義之
設立	: 1969年（昭和44年）10月3日
資本金	: 2億円
株主	: 大日本除虫菊株式会社
社員数	: 約90名
年商	: 約80億円
事業内容	: 家庭園芸用薬品・肥料・資材等および花卉・緑化関連資材、家庭用日用品雑貨の製造と販売
主な取扱品目	: <家庭園芸用> ○殺虫殺菌剤／ベニカXシリーズ、ベニカナチュラルスプレー、オルトランCなど ○殺虫剤／スミチオン、オルトランシリーズ、アリアートルシリーズ、ナメトックスシリーズなど ○特定防除資材／ピュアベニカ ○殺菌剤／ベンレート水和剤、ダコニール1000、マイローズベニカBT殺菌粒剤など ○除草剤／草退治ストロングシリーズ、草退治セーフシリーズ、マイターフシリーズなど ○植物成長調整剤／ジベラ錠5、トマトーンなど ○展着剤／ダイン ○肥料／マイガーデン、マイローズ、花工場シリーズ、MY PLANTS、エードボールCaなど ○バイオスティミュラント／X-ENERGY(エックスエナジー)シリーズ ○活力剤／マイローズばらの活力液DX ○用土／マイローズばらの培養土、MY PLANTS健やかに育てるソイル ○資材類・その他／アースチェック液、MY PLANTS葉をきれいにするシートなど <緑化用> ○殺虫剤／GFオルトランカプセル